



30th Anniversary  
純パの会30周年  
1982-2012

# Pure 純 No.163 Pacific パ Sep.2012

純パの会会報『純パ』第163号

2012年9月29日発行

発行：純パの会

〒193-0816 東京都八王子市大楽寺町155-10 吉田方  
TEL & FAX.042-652-1066

## パ・リーグに『永久欠番』復活を! ~ライオンズ・クラシック2012を観戦して~ 岩河 正剛(東京都福生市)

7月1日(日)、『ライオンズ・クラシック2012』(対ファイターズ戦)を観戦するため、西武ドームを訪れた。

今年の開催で5年目となった『ライオンズ・クラシック』。今回のテーマは、今年ちょうど生誕75年目を迎えた、「神様、仏様、稲尾様」と崇められた西鉄ライオンズの大投手、「鉄腕」稲尾和久氏を振り返るもの。また、それに伴い、今回の『ライオンズ・クラシック』は、以下のように従来とは違った内容で開催された。

まず一つは、今年の『ライオンズ・クラシック』は、この1試合のみという事。昨年までは各カード毎それぞれ3試合(計15試合)行われていたが、今年はこの試合だけ。正直、そろそろ球団もこのイベントのネタが尽きてきたのか? という風にも感じたが、1試合だけの方がファンの注目度が高く、またイベント自体に威厳やクオリティーを高められるので、従来の様に何十試合も長期間開催するよりは、この方が良いと思う。

もう一つは、今回の試合は、日本プロ野球史上初の実行となる「監督、コーチ、選手全員が同じ背番号でプレーする」という事。1961年当時(故稲尾氏がシーズン42勝のプロ野球最多タイ記録を達成した年)のデザインのユニフォームを着用し、ライオンズのベンチ入りメンバー全員が故稲尾氏の現役時代の背番号“24”で試合を行うのだ。MLBで行われている「ジャッキー・ロビンソンデー」(MLB全球団が故ロビンソン氏=黒人初のメジャーリーガー)の現役時代の背番号“42”を付けてプレー)の日本版、といった趣向だ。それにより、故稲尾氏の背番号“24”を、球団史上初の「永久欠番」に制定して称える、という流れだ。

稲尾和久 永久欠番メモリアルゲーム

2012.7.1 [Sun]  
西武ドーム

VS  
北海道日本ハム  
ファイターズ

観戦記念入場券

本券はメモリアルゲームの観戦を記念するものです。実際の野球観戦の入場にはご利用いただけません。

- 1956 西鉄ライオンズに入団。21勝の初、初勝利(10回ハットトリック)を記録し、新人王。
- 1957 シーズン20連勝(プロ野球記録)を記録。史上最多打席(24)を記録。
- 1958 日本シリーズで新設中日戦役に参加し、4勝全てをあげ日本一。(伊藤、山根、稲尾、稲尾)が投げた。
- 1959 史上最多の13年連続20勝以上を記録。
- 1961 史上最多タイのシーズン42勝を記録。
- 1962 プロ入り7年目で200勝を達成し、まさに「鉄腕」。
- 1969 通算20勝以上をあげ、初の20勝以上を達成し、監督に就任。
- 2012 西鉄ライオンズ復活。監督時代の背番号(24)が球団史上初の永久欠番に。

ライオンズ・クラシック 2012  
稲尾和久 24 生誕75周年  
永久欠番メモリアルゲーム -背番号(24)の記憶-

●当日の来場者に配布された  
観戦記念入場券。